

2021年2月25日

各位

ENEOSホールディングス株式会社

「第52回ENEOS童話賞」の作品募集を開始します



当社（社長：大田 勝幸）は、3月1日（月）から「第52回ENEOS童話賞」の作品募集を開始いたします。

当社は、本童話賞を1970年に設立し、毎年、児童福祉施設などで暮らす子どもたちの大学や専門学校への進学支援を行っております。本童話賞は「心のふれあい」をテーマに、毎年応募された作品の中から優秀作品を選考し、1冊にまとめた童話集「童話の花束」をチャリティー販売しています。その売上金は、社会福祉法人全国社会福祉協議会を通じ、同協会が設立した「ENEOS奨学助成制度」による奨学金として、子どもたちへ贈られています。

「童話の花束」の作成にあたっては、森林整備の中で生じた間伐材を製紙原料の一部に使用しています。間伐などによる森林整備により木々の健全な生育を促し、環境の保全に努めています。

当社は、今後もENEOSグループの行動基準の一つである「市民社会の発展への貢献」のもと、次世代の育成・支援や環境保全の取り組みを推進するとともに、国連「SDGs（持続可能な開発目標）」の実現に貢献してまいります。

【作品募集要領】

1. 主 催：ENEOSホールディングス株式会社
2. 後 援：全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国市町村教育委員会連合会、
全国小学校国語教育研究会、全日本中学校国語教育研究協議会、
全国高等学校国語教育研究連合会、全国小学校道德教育研究会、
全日本中学校道德教育研究会
3. 募集作品：
 - (1) 「心のふれあい」をテーマとした創作童話。ご自身で考えたお話を、自由な発想で書いてください。未発表の完全にオリジナルな作品に限ります。
 - (2) 必ずタテ書きでご応募ください。市販の400字原稿用紙またはワープロ原稿(20字×20行)5枚以内(表紙を除く)でお送りください。
4. 応募資格：アマチュアに限ります。合作、共作などはご応募いただけません。
5. 応募区分と賞：
 - (1) 一般の部／中学生の部／小学生以下の部の3部門
 - (2) 賞
 - 〈一般の部〉

最優秀賞	1編	賞状、賞金100万円、記念品
優秀賞	2編	賞状、賞金30万円、記念品
佳作	5編	賞状、賞金10万円、記念品
奨励賞	5編	賞状
 - 〈中学生の部〉

最優秀賞	1編	賞状、賞品(図書カード10万円分)、記念品
優秀賞	2編	賞状、賞品(図書カード5万円分)、記念品
佳作	2編	賞状、賞品(図書カード3万円分)、記念品
奨励賞	5編	賞状
 - 〈小学生以下の部〉

最優秀賞	1編	賞状、賞品(図書カード10万円分)、記念品
優秀賞	2編	賞状、賞品(図書カード5万円分)、記念品
佳作	2編	賞状、賞品(図書カード3万円分)、記念品
奨励賞	5編	賞状

※未成年者が受賞された際の賞金受領については、保護者の同意書が必要となります。
※最優秀賞にふさわしい作品がなかった場合には、「該当なし」とすることがあります。

6. 応募方法：郵送とインターネットの2通りがあります。
※作品を受付後、郵送の場合は受領ハガキ、インターネット応募の場合は受領電子メールをお送りいたします。

(1) 郵送での応募

原稿の上に、下記の必要事項を記入した表紙を重ね、右上を綴じてください。

〈必要事項〉 郵便番号・住所・氏名（未成年者は保護者の氏名併記）・年齢・性別・職業
（学生の方は2021年5月31日時点での学年）・電話番号・作品名・応募区分
（一般の部／中学生の部／小学生以下の部）

〈送付先〉 〒100-8692

日本郵便株式会社 銀座郵便局 私書箱610号

「ENEOS童話賞 R係」

※応募作品は返却いたしませんので、あらかじめコピーをとられたうえで、ご応募ください。

(2) インターネットでの応募

インターネット上の規定のフォームにて受付いたします。

「童話の花束」ホームページ (<https://www.hd.eneos.co.jp/hanataba/>)

7. 締め切り：2021年5月31日（月）（郵送は当日消印有効）

8. 発表：2021年10月中旬予定（詳しくはホームページをご確認ください）
最優秀賞・優秀賞・佳作および奨励賞を受賞された方々については、郵便による通知とホームページ上にて発表いたします。なお、選に漏れた方には個別の連絡はいたしませんので、ご了承ください。

9. お問い合わせ先：ENEOS童話賞事務局

フリーダイヤル 0120-982-588

受付時間 10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日、年末年始を除く）

※選考内容に関するお問い合わせは、ご遠慮ください。

10. 選考（敬称略）：

西本鶏介（児童文学者）

立原えりか（童話作家）

角野栄子（童話作家）

中井貴恵（女優・エッセイスト）

宮西達也（絵本作家）

薫くみこ（児童文学作家）

ENEOS童話賞選考委員会

11. 著作権の帰属等：

- ・受賞作品の著作権（著作権法27条および28条の権利を含む）は、ENEOSホールディングス株式会社に帰属いたします。
- ・最優秀賞・優秀賞・佳作は、童話集「童話の花束（その52）」に収録します。
- ・応募者全員に「童話の花束（その52）」を1冊進呈いたします。
（2021年12月頃発送予定）

12. 個人情報の取り扱いについて：

本童話賞にご応募いただいた方の個人情報は、受領ならびに選考結果発表、「童話の花束」の発送、次回以降の募集案内以外の目的には利用いたしません。

※ 個人情報取り扱いの委託：個人情報に関する秘密保持契約を締結している業務委託企業に対して、個人情報の取り扱いを委託します。

以上

<国連「SDGs」との関わり>



<添付資料>

1. ENEOS 童話賞 選考委員のご紹介
2. ENEOS 童話賞に込めた3つの願い
3. 昨年（第51回）の応募状況と ENEOS 童話賞のあゆみ

ENEOS 童話賞 選考委員のご紹介

(敬称略)

西本鶏介



奈良県に生まれる。昭和女子大学名誉教授。児童文学や児童文化に対する評論、作家・作品論、民話の研究、創作など幅広く活躍。絵本や民話の再話も多い。また坪田譲治文学賞、椋鳩十文学賞などの選考委員もつとめる。近著に「おめでとうのさくらまんじゅう」(絵本塾出版)「まよなかのたんじょうかい」(すずき出版)、「西本鶏介児童文学論コレクション(3巻)ー巖谷小波文芸賞特別賞 受賞ー」(ポプラ社)などがある。

【西本先生からのメッセージ】

ENEOS 童話賞の基本的なテーマはあたたかな心のふれあいです。それさえ守っていたらどんな題材でもかまいません。大切なことは何を書くかではなく、いかに面白く書くかです。いちばんつまらないのは、だれでも思いつくような発想や描き方をした類型的な作品です。童話だからといって動物をやたらと擬人化したり、ファンタスティックなお話にする必要はありません。現実を舞台にした人間のお話だって、いくらでもすぐれた作品が書けるはずです。

素朴であっても、いきいきと泣き笑いのできる作品、空想のできごとが本当のできごとのように思える作品、みずみずしい感性のイメージ豊かな作品、個性的でありながら誰もが共感できる童話、そんな童話を待っています。人を感動させるためには、みずから感動できる心が必要です。なにげない風景や人間の姿にも童話になるものはいくらでもあります。時にはじっくりと眺めてください。

立原えりか



東京都に生まれる。童話作家。「人魚のくつ」でデビュー。ユーキャンの「立原えりかの童話塾」塾長、広島アンデルセン、池袋コミュニティカレッジほかで童話創作教室の講師などをつとめる。代表作は「木馬がのった白い船」ほか、「うたってよ、わたしのために」(ポプラ社)、「あんず林のどろぼう」(岩崎書店)、詩集「あなたが好き」(大日本図書)、「王女の草冠」(愛育社)、近著に「立原えりかのグリム童話」(朝日学生新聞社)などがある。

角野栄子



東京都に生まれる。童話作家。主な作品に「魔女の宅急便」(福音館書店)、「なぞなぞあそびうた」(のら書店)、「ネッシーのおむこさん」(金の星社)、「アッチ コッチ ソッチのちいさなおばけシリーズ」(ポプラ社)、「わたしのママはずかさん」(偕成社)、「トンネルの森 1945」(角川書店)、近著に「角野栄子エブリデイマジック」(平凡社)、「境目なしの世界」(理論社)、『『作家』と『魔女』の集まっちゃった思い出」(角川書店)など。2000年に紫綬褒章、2014年に旭日小綬章を受章。2013年に第48回東燃ゼネラル児童文化賞(現ENEOS児童文化賞)、2018年に国際アンデルセン賞・作家賞受賞。

中井貴恵



女優・エッセイスト。数々の映画、ドラマに出演。現在は「大人と子供のための読みきかせの会」の代表をつとめる。2006年より様々なジャンルの音楽と朗読を合体させた朗読公演「音語り」にも精力的に取り組んでいる。「あらしのよるに」「きいろいばけつ」「ナゲキバト」「晩春」「秋日和」「東京物語」「秋刀魚の味」などを全国で公演中。2017年より、ゆったりと落ち着いた空間で大人が絵本の朗読を楽しむ公演『おとな絵本の朗読会』をスタート。エッセイスト、絵本翻訳家として著作物多数。

宮西達也



静岡県に生まれる。絵本作家。人形美術、グラフィックデザイナーを経て絵本をかき始める。主な作品に「おまえうまそうだな」(ティラノサウルスシリーズ:ポプラ社)、「おとうさんはウルトラマン」「パパはウルトラセブン」(ともに学習研究社)、「ヘンテコリンおじさん」(講談社)、「きょうはなんてうんがいいんだろう」(鈴木出版)、近著に「おかあさんありがとう」「どこがながいかわかる?」(ともに金の星社)など多数。

薫くみこ



東京都に生まれる。児童文学作家。高島屋の広告デザイナーを経て、児童文学、絵本、童話の創作を始める。主な作品に「十二歳の合い言葉—12歳シリーズ」(ポプラ社)、「あのときすきになったよ」(教育画劇)、「ハキちゃんの『はっぴょうします』」(佼成出版社)、「ちかちゃんのはじめてだらけ」(日本標準)、「なつのおうさま」(ポプラ社)、「みんなでんしゃ—赤いでんしゃシリーズ」(ひさかたチャイルド)、近著に「歯っかけアーメンさま」(理論社)、「スパイガール GOKKO」(ポプラ社)など多数。

以上

ENEOS 童話賞に込めた3つの願い

1. “たくさんの人に「心のふれあい」をお届けしたい” ～童話集「童話の花束」～

童話の花束



ENEOSグループは、ENEOS童話賞受賞作品を一冊の童話集「童話の花束」としてまとめ、全国の教育機関、児童福祉施設、海外の日本語学校などに毎年寄贈しています。

1973年の発刊以来、これまで700編以上の作品が収められ、時代を反映した心のふれあいの移り変わりが読み取れます。過去の作品は、当社WEBサイトでご覧いただけます。

2. “子どもたちの夢を応援したい” ～次世代育成・支援～

「童話の花束」は、チャリティー販売を通じてENEOSグループのサービスステーションを運営する特約店やLPガス特約店の皆様にお買い上げいただくほか、ENEOSグループ各社やその役員・従業員も購入し、売上金はすべてENEOS童話基金に組み入れられます。同基金から、社会福祉法人全国社会福祉協議会（以下、全社協）に寄付を行っています。

この寄付金は、全社協が設立した「ENEOS奨学助成制度」により、全国の児童福祉施設などで暮らす子どもたちが高校を卒業し、大学や専門学校へ進学する際の入学支度金の一部として活用されています。2019年度は640名への助成を決定し、給付を行いました。2004年3月の助成制度創設以来、これまでの助成決定者数は6,482名、助成金の累計額は6億3,745万円となっています。



3. “元気な森林づくりの力になりたい” ～環境保全～

「童話の花束」に使用する製紙原料には、森林整備の中で生じた間伐材が活用されており、間伐などの森林整備により木々が健全に生育することから、国内の二酸化炭素吸収量の拡大に貢献しています。ENEOSグループは、「童話の花束」を通じて、国内の森林保全を推進する林野庁の「木づかい運動」を応援しています。

ENEOS童話賞の詳細については、「童話の花束」ウェブサイト
[\(https://www.hd.eneos.co.jp/hanataba/\)](https://www.hd.eneos.co.jp/hanataba/) をご覧ください。

昨年（第51回）の作品応募状況とENEOS童話賞のあゆみ

1. 昨年（第51回）の作品応募総数：14,068編

（一般の部10,248編、中学生の部2,432編、小学生以下の部1,388編）

第51回ENEOS童話賞の表彰式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しましたが、受賞者の皆様には賞状・記念品などを贈呈し表彰いたしました。



2. ENEOS童話賞のあゆみ

(1) 歴史

- 1970年 宅配灯油の顧客への販促品として童話集『アンデルセンをおはなししましょう』を発行（共同石油）
- 1973年 第1回「作品公募」を実施
- 1974年 東京善意銀行を通じて都内福祉施設に『童話の花束』の寄贈を開始
（当初は毎年5,000冊を寄贈、近年は全国の福祉施設に約10,000冊を寄贈）
- 1976年 第2回「作品公募」を実施（以降、毎年実施）
- 1992年 「共石『童話の花束』基金」を設立
（『童話の花束』有償配布の売上金を社会福祉分野に寄付を開始）
- 1993年 「JOMO童話基金」に名称変更
- 1999年 ウェブサイト『童話の花束』を開設
- 2004年 「JOMO奨学助成金制度」の運営を開始
（社会福祉法人全国社会福祉協議会へ運営を委託）
- 2010年 「JX童話賞」に名称変更
- 2012年 タレント・新山千春さんをPR大使に起用
（2012年4月10日～2013年12月31日）
全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国市町村教育委員会連合会の後援を取得
- 2013年 「JX-ENEOS童話賞」に名称変更
- 2015年 全国小学校国語教育研究会、全日本中学校国語教育研究協議会の後援を取得
- 2017年 「JXTG童話賞」に名称変更

2020年 「ENEOS童話賞」に名称変更
全国高等学校国語教育研究連合会、全国小学校道徳教育研究会、全日本
中学校道徳教育研究会の後援を取得

(2) 受賞・表彰一覧

- 1986年 東京都青年文化協会より感謝状を受領
- 2002年 ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞
- 2002年 毎日社会福祉顕彰を受賞
- 2003年 メセナ大賞2003「児童文化貢献賞」を受賞
- 2007年 社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞
- 2009年 社会福祉法人全国里親会より里子支援に対する感謝状を受領
- 2010年 社会福祉法人全国児童養護施設協議会より児童養護施設の児童支援に
対する感謝状を受領
- 2010年 社会福祉法人全国母子生活支援施設協議会より母子生活支援施設の
児童支援に対する感謝状を受領
- 2016年 社会福祉法人全国児童養護施設協議会より児童養護施設の児童支援に
対する感謝状を受領

以上